

研究課題名「日本の総合診療領域での周期性発熱患者診療に関する全国調査」に関する情報公開

1. 研究の対象

本研究の対象者は、アンケート調査実施期間の2025年1月から2月に日本プライマリ・ケア連合学会、日本病院総合診療医学会、**日本地域医療学会**に所属する医師で、本研究に参加の同意をされた方です。ただし、初期研修医は除きます。

2. 研究目的・方法・研究期間

研究目的：自己炎症性疾患のうち周期性発熱・アフタ性口内炎・咽頭炎・リンパ節炎（PFAPA）症候群を念頭にした日本の総合診療医による診療実態を明らかにすることを目的とします。

研究方法：

研究デザイン：無記名オンラインアンケート調査による横断研究

目標対象者数：360例

情報の収集方法：電子メールでの周知に基づく電子媒体での質問紙調査

統計・分析方法：記述統計、調査項目に関する群間比較(一元配置分散分析、

Kruskal-Wallis検定、多重比較の場合 Bonferroni補正、群の数によって検定方法は変更します)を実施します。

本研究に関連して開示すべき利益相反はありません。

研究期間：（西暦）2026年 5月 20日（実施許可日）～（西暦）2027年 3月 31日

3. 研究に用いる情報の種類

情報：自己炎症性疾患（PFAPA症候群）診療経験の有無、自己炎症性疾患の診療種類、診療経験数（患者年齢層別）、処方実績・処方内容（シメチジン継続処方数）、所属学会、専門診療科、主たる勤務地（都道府県）、主たる医療機関の規模（大学附属病院、総合病院、診療所）、学会専門医資格、臨床経験年数、性別、処方薬に関する回答者の認識、等

4. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で、記憶媒体や電子的配信によって行います。

5. 研究組織

別表参照

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

連絡先担当者（研究責任者）連絡先：

横浜市立大学 発生成育小児医療学 伊藤秀一

横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 研究棟 A307 号室

TEL：045-787-2800

E-mail：itoshu@yokohama-cu.ac.jp

研究分担者：

横浜市立大学 発生成育小児医療学 服部成良

横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 研究棟 A303 号室

TEL：045-787-2800

E-mail：seira@yokohama-cu.ac.jp

研究代表者：

名古屋大学大学院医学系研究科 地域医療教育学 高橋 徳幸

日本の総合診療領域での周期性発熱患者診療に関する全国調査：共同研究者別表

役割	氏名	所属1	所属2	職名
研究責任者	西小森隆太	久留米大学	小児科	教授
研究責任者	稲毛 英介	順天堂大学	医学部附属順天堂医院・小児科	助教
研究責任者	伊藤秀一	横浜市立大学	小児科	主任教授
研究責任者	大西秀典	岐阜大学	小児科	教授
研究責任者	八角高裕	京都大学	大学院医学研究科子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）京都ユニットセンター	特定教授
研究者	田中征治	久留米大学	小児科	講師
研究者	日吉祐介	久留米大学	小児科	助教
研究者	北城恵史郎	久留米大学	小児科	助教
研究者	新居見真吾	久留米大学	小児科	助教
研究者	井田弘明	久留米大学	呼吸器・神経・膠原病内科	教授
研究者	日高由紀子	久留米大学	呼吸器・神経・膠原病内科	助教
研究者	太田光泰	横浜市立大学	医学教育学・総合診療学	教授
研究者	服部成良	横浜市立大学	小児科	助教
研究者	門脇紗織	岐阜大学	小児科	特任助教
研究者	白木真由香	岐阜大学	小児科	医員
研究者	井澤和司	京都大学	大学院医学研究科 医学専攻発生発達医学講座発達小児科学	講師
研究者	日衛嶋栄太郎	京都大学	医学部附属病院 総合周産期母子医療センター	助教